

授業科目

助産学実習II

担当教員名 下山 博子、塚本 康子、中山 和美、山口 典子 他	対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

助産の対象者に集団および個別の健康教育を行い、対象者の健康増進を目指した実践力を養う。

授業の目的

助産活動としての健康教育における一連のプロセス（対象の特性の把握とテーマ設定から計画立案、実施、評価）を展開する。さらに、助産の対象への健康相談や教育活動について考え、そのあり方について考察を深めることを目的に実習する。

学習目標

1. 対象の理解に基づき、効果的な集団へのアプローチの企画・運営ができる。
2. 対象の理解に基づき、理論を活用しながら個別および集団保健指導を実施し、評価できる。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
集団対象に対して効果的なアプローチの企画と運営	例：実習施設の妊娠期にある対象集団に対して、健康教育（出産準備教育等）を実施する	下山 博子 塚本康子、中山和美、山口典子 他
助産の対象への集団・個別保健指導	例：実習施設の産褥期にある女性に対して、集団および個別の保健指導（家族計画、育児指導等）を実施する	下山 博子 塚本康子、中山和美、山口典子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森恵美	日本看護協会出版会	2015年	3,600円＋税	
	助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	横尾京子	日本看護協会出版会	2015年	3,600円＋税	
参考書	助産学講座5 助産診断・技術学 I	堀内成子	医学書院	2013年	3,800円＋税	
その他の資料	実習要項					

評価方法

看護実践内容（保健指導案、保健指導評価表に基づく）50%程度
実習への貢献度（企画・準備への参加態度）50%程度

履修上の留意点

実習方法等の内容の詳細については、実習オリエンテーションで説明します。
集団対象に対する健康教育の企画・運営は選択者全員で取り組みます。
各対象への個別・集団指導は、分娩介助した対象者またはその対象者を含む集団指導でも可とします。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーは特に指定しません。指導案の提出、指導を受ける際は、事前にアポイントをとってください。
研究室 K405（第4研究・実習棟4階）
連絡先 hiroko-s@nuhw.ac.jp